

【基本施策】

目標値の見直しや
新たな成果指標の設定を
行った成果指標
(4指標)

87指標

(計画策定時点)

→

88指標

(令和6年度施策評価時点)

基本施策 E8 水道水を安定して供給し、下水を適正に処理します

成果指標	基準値	目標値
水道管（基幹管路）の耐震化率	55.9% （R2年度）	<u>57.0%</u> （R7年度）



成果指標	基準値	目標値
水道管（基幹管路）の耐震化率	55.9% （R2年度）	<u>69.1%</u> （R7年度）

令和5年度末で当初設定した目標値を達成したことから、施設整備計画（第12次配水施設整備事業）に基づき令和5年度実績値68.2から0.9ポイント増加させることとし、目標値を変更した。

基本施策 F2 高齢者が安心して自分らしい暮らしを続けられる地域づくりを進めます

成果指標	基準値	目標値	指標の説明
医療や介護が必要になった時、現在のお住まいの地域で安心して暮らし続けられると思う高齢者の割合	55.0% （R3年度）	89.0% （R7年度）	①医療や介護が必要になった時、現在の住まいの地域で安心して暮らし続けられると思う高齢者の割合。 ②①の割合が増えることが住み慣れた地域で暮らし続けることを目指す地域包括ケアシステムの推進につながると考えられるため。 ③市民意識調査により把握する。 ④令和元年度に実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」において、医療や介護が必要になっても今の住まいに住み続けたいと思う高齢者の割合が69.9%であったことから、市民意識調査の「長崎市にこれからも住み続けたいと思いますか」（そう思う・どちらかと言えばそう思う）の数値89.0%に近づけることを目標とする。

【補助代替指標】計画当初設定した指標の実績値を把握する「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」が3年に1回の調査であるため、毎年実施される市民意識調査において実績値を把握する補助代替指標を設定した。

基本施策 F6 生活困窮者等が将来への希望を持てる支援を充実します

成果指標	基準値	目標値
生活保護面接相談及び生活支援相談センターで <u>何らかの解決を得た人</u> の割合	55.9% (R2年度)	57.0% (R7年度)

成果指標	基準値	目標値
生活保護面接相談及び生活支援相談センターで課題解決に至った人の割合	55.9% (R2年度)	57.0% (R7年度)

当初設定した指標の表現について、明確で分かりやすい表現に変更した。

基本施策 H3 市民に信頼される市役所にします

成果指標	基準値	目標値	指標の説明
基本施策の成果指標目標達成率	94.2% (R元年度)	100% (R7年度)	●実績値の把握方法 全基本施策における成果指標の当該年度における目標値に対する達成率の平均値により把握する。 ●目標値設定の考え方 各基本施策において当該年度における目標値の達成をめざしていることから、毎年度100%を目標とする。

成果指標	基準値	目標値	指標の説明
基本施策の成果指標目標達成率	—	100% (R7年度)	●実績値の把握方法 全基本施策における成果指標の令和7年度（第五次総合計画前期基本計画最終年度）の目標値に対する達成率の平均値により把握する。 ●目標値設定の考え方 全ての基本施策で令和7年度（第五次総合計画前期基本計画最終年度）の目標値を達成することを目標とする。

施策評価の見直しに伴い、各年度における目標値を廃止したため、当該年度における成果指標の目標達成率を把握できなくなったことから、実績値の把握方法を変更した。

また、各基本施策が施策のめざす姿へ順調に進んでいることの客観的な判断基準となるため、当該年度ではなく、令和7年度（第五次総合計画前期基本計画最終年度）の目標値に対する達成率へと目標値設定の考え方を変更した。

【個別施策】

目標値の見直しや
新たな成果指標の設定を
行った成果指標
(22指標)

237指標 → 242指標

(計画策定時点)

(令和6年度施策評価時点)

個別施策 A2-1 観光資源を磨き、魅力あるコンテンツを創造します

成果指標	基準値	目標値
コンテンツ利用者数[暦年]	560人（R元年度）	6,100人（R7年度）



成果指標	基準値	目標値
コンテンツ利用者数[暦年]	<u>72,398人</u> （R4年度）	<u>292,197人</u> （R7年度）

当初設定した目標値を達成したことから、目標値を再設定した。

個別施策 A2-3 交流のための都市機能を高め、安全安心・快適な滞在環境づくりを推進します

成果指標	基準値	目標値
安全安心・快適な滞在環境に関する満足度	—	—（R7年度）



成果指標	基準値	目標値
安全安心・快適な滞在環境に関する満足度 <u>（日本人観光客）</u>	<u>60.0%（R4年度）</u>	<u>67.0%</u> （R7年度）
安全安心・快適な滞在環境に関する満足度 <u>（外国人観光客）</u>	—	<u>67.0%</u> （R7年度）

当初設定した成果指標を日本人観光客と外国人観光客とに分割し再設定した。
また、訪問客等へのアンケート調査の結果から目標値を設定した。

個別施策 BI-1 平和・原爆関連施設の整備及び被爆資料・被爆遺構の保存・活用を図ります

成果指標	基準値	目標値
インターネットによる被爆資料等の閲覧件数	100万件（R元年度）	100万件（R7年度）



成果指標	基準値	目標値
インターネットによる被爆資料等の閲覧件数	38.7万件（R2年度）	43.8万件（R7年度）

R2年度より集計方法が変更となったため、目標値を見直すこととし、平和・原爆への関心が高まった75周年の閲覧数約38.7万人(最大値)を基準値として、H28～H30年度までの平均伸び率+2.5%で増加させていくことを目標とした。

個別施策 BI-3 多様な方法で継承の取組みを推進します

成果指標	基準値	目標値
被爆遺構デジタルマップ閲覧件数	—	—（R7年度）



成果指標	基準値	目標値
被爆遺構デジタルマップ閲覧件数	47.7万件（R4年度）	88.1万件（R7年度）

R5年度実績を考慮して、直近でみた月平均訪問数(R4年度：10,769人・ページ閲覧数3.7件/人)、(R5年度：訪問数14,536人・ページ閲覧数4.4件/人)であるため、2か年における月平均人数の12,652人が、毎年度ページ閲覧を0.7件(R5-R4の増加数)増やしていくこととして目標値を設定した。

個別施策 B3-1 スポーツや芸術などを通して、身近なところから平和について考え、行動する機会を増やします

成果指標	基準値	目標値
平和の文化キャンペーン関連事業数	21件（R4年度）	30件（R7年度）

【補助代替指標】 R4年度から平和の文化キャンペーン期間を設定したことにより、「平和の文化」の醸成に、より一層つながりやすいキャンペーン関連事業数を代替指標として設定した。

個別施策 E8-1 いつでも安心な水を市民に届けます

成果指標	基準値	目標値
水道管（基幹管路）の耐震化率	55.9%（R2年度）	<u>57.0%</u> （R7年度）

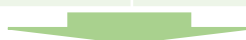


成果指標	基準値	目標値
水道管（基幹管路）の耐震化率	55.9%（R2年度）	<u>69.1%</u> （R7年度）

R5年度末で当初設定した目標値を達成したことから、施設整備計画に基づきR5年度実績値から0.9ポイント増を目標とした。（68.2%→69.1%）

個別施策 E8-1 いつでも安心な水を市民に届けます

成果指標	基準値	目標値
配水池耐震化率	39.3%（R2年度）	<u>42.3%</u> （R7年度）



成果指標	基準値	目標値
配水池耐震化率	39.3%（R2年度）	<u>43.3%</u> （R7年度）

R5年度末で当初設定した目標値を達成したことから、施設整備計画に基づきR5年度実績値から0.1ポイント増（1施設）を目標とした。（43.2%→43.3%）

個別施策 F1-3 男女共同参画に関する意識の醸成を図ります

成果指標	基準値	目標値
男女共同参画推進センター主催講座の参加者数	4,500人 (H28～R元年度平均)	<u>4,700人</u> (R7年度)

↓

成果指標	基準値	目標値
男女共同参画推進センター主催講座の参加者数	4,500人 (H28～R元年度平均)	<u>7,800人</u> (R7年度)

R3年度から新たに実施している「性に関する講座」について、学校からの需要が増えたことにより、目標値を大きく上回り今後も大幅な減少が見込まれないことから、目標値を7,800人に変更した。(策定時4,700人)

個別施策 F2-1 地域包括ケアシステムの推進を図ります

成果指標	基準値	目標値	指標の説明
地域包括ケアシステムを知っている市民の割合	25.7% (R3年度)	45.0% (R7年度)	①地域包括ケアシステムについて言葉だけではなく、内容も知っている市民の割合。 ②地域包括ケアシステムの理解が進むことにより、高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できると考えられるため。 ③市民意識調査により把握する。 ④国が示す基礎項目に長崎市の独自項目を加え令和元年度に実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」において、20.5%であったことから年度ごとに5%の上昇を目標とする。

【補助代替指標】計画当初設定した指標の実績値を把握する「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」が3年に1回の調査であるため、毎年実施される市民意識調査において実績値を把握する補助代替指標を設定した。

個別施策 F2-4 介護サービスの充実を図ります

成果指標	基準値	目標値
地域密着型サービス事業所の整備数	小規模多機能型居宅介護 （看護を含む） 42箇所 認知症対応型共同生活介護 72箇所 （R2年度）	第9期（R6年～8年度） 介護保険事業計画 に定める目標値



成果指標	基準値	目標値
<u>小規模多機能型居宅介護（看護を含む） 事業所の整備数（累計）</u>	—	<u>9箇所</u> （R7年度）
<u>認知症対応型共同生活介護事業所の整備数（累計）</u>	—	<u>6箇所</u> （R7年度）

当初設定した「地域密着型サービス事業所」についてより明確に分割し再設定する。
 また、計画策定当初は基準値・目標値・実績値を事業所総数で示していたが、事業所の廃止等により基準値が変動するため整備数で示すこととした。

個別施策 F4-1 結婚や妊娠の希望の実現を支援します

成果指標	基準値	目標値	指標の説明
婚姻数	1,872件 （H29年度）	1,900件 （R7年度）	①市内居住者の年間婚姻数。 ②結婚、妊娠、出産の希望を叶えるための環境及び取組みを充実させることで、婚姻数の増加につながると考えられるため。 ③厚生労働省「人口動態調査」により把握する。ただし、人口動態調査（住所地集計）は毎年10月頃に前年の数値が公表されるため、評価の段階においては、暫定的に市の独自集計（届出地集計）を記載する。 ④第2期長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略における出生数の目標値3,040人を達成するためには、平成29年度実績が出生数3,108人、婚姻数1,872人であったことを踏まえ、約1,900件の婚姻数が必要であると考えられるため。

【追加指標】 施策の進捗を測る指標として新たに設定した。

個別施策 F4-2 母と子の健康を支援します

成果指標	基準値	目標値
妊婦の健康相談対応件数	2,919件（R元年度）	<u>2,919件</u> （R7年度）



成果指標	基準値	目標値
妊婦の健康相談対応件数	2,919件（R元年度）	2,451件 （R7年度）

妊婦は年々減少する中、相談対応は増加傾向にあることから、R5年度実績値を目標値に見直した。

個別施策 F6-1 生活困窮者等が安定した生活ができるよう支援します

成果指標	基準値	目標値
生活保護面接相談で <u>何らかの解決を得た人</u> の割合	99.9%（R2年度）	99.9%（R7年度）



成果指標	基準値	目標値
生活保護面接相談で 課題解決に至った人 の割合	99.9%（R2年度）	99.9%（R7年度）

当初設定した指標の表現について、明確で分かりやすい表現に変更した。

個別施策 F6-1 生活困窮者等が安定した生活ができるよう支援します

成果指標	基準値	目標値
生活支援相談センターで <u>何らかの解決を得た人</u> の割合	95.1%（R元年度）	95.1%（R7年度）



成果指標	基準値	目標値
生活支援相談センターで 課題解決に至った人 の割合	95.1%（R元年度）	95.1%（R7年度）

当初設定した指標の表現について、明確で分かりやすい表現に変更した。

個別施策 F6-1 生活困窮者等が安定した生活ができるよう支援します

成果指標	基準値	目標値
学習支援事業で <u>成果が得られた人の割合</u>	100%（R2年度）	100%（R7年度）



成果指標	基準値	目標値
学習支援事業に <u>参加した中学3年生の高校進学率</u>	100%（R2年度）	100%（R7年度）

当初設定した指標の表現について、明確で分かりやすい表現に変更した。

個別施策 F6-1 生活困窮者等が安定した生活ができるよう支援します

成果指標	基準値	目標値
子どもの健全育成支援事業で <u>成果が得られた人の割合</u>	64.0%（R2年度）	78.6%（R7年度）



成果指標	基準値	目標値
子どもの健全育成支援事業で <u>課題解決に至った人の割合</u>	64.0%（R2年度）	78.6%（R7年度）

当初設定した指標の表現について、明確で分かりやすい表現に変更した。

個別施策 F9-I 救急医療体制の充実を図ります

成果指標	基準値	目標値
長崎みなとメディカルセンターにおける救急搬送 <u>応需率</u>	<u>88.6%</u> (R2年度)	<u>前年度から向上</u> (R7年度)

↓

成果指標	基準値	目標値
長崎みなとメディカルセンターにおける救急搬送 <u>受入数</u>	<u>4,414件</u> (R2年度)	<u>基準値より向上</u> (R7年度)

応需率は受入要請件数に応じて変動してしまうため、R6年度より応需率ではなく受入数で判断すべきであることから変更した。

個別施策 F9-I 救急医療体制の充実を図ります

成果指標	基準値	目標値
心肺蘇生の実施率 <u>〔暦年〕</u>	<u>58.6%</u> (R2年)	72.5% (R7年度)

↓

成果指標	基準値	目標値
心肺蘇生の実施率	<u>59.8%</u> (R2年度)	72.5% (R7年度)

設定当初は暦年表記としていたが、他の指標と統一するため、R6年度から年度表記に変更した。

個別施策 GI-1 「確かな学力」の向上を図ります

成果指標	基準値	目標値
授業でＩＣＴをほぼ毎日活用したと答えた小中学生の割合	8.4％（Ｒ２年度）	<u>100％</u> （Ｒ７年度）



成果指標	基準値	目標値
授業でＩＣＴをほぼ毎日活用したと答えた小中学生の割合	8.4％（Ｒ２年度）	<u>80.0％</u> （Ｒ７年度）

当初は目標値を100％としていたが、国語などにおいて、あえて紙に鉛筆でしっかりと書かせる場面を選択することもあるため、目標値を当初の80％に変更した。

個別施策 GI-3 家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります

成果指標	基準値	目標値
「学校支援ボランティア」の人数	<u>2,878人</u> （ <u>H28～R2年度平均</u> ）	<u>2,928人</u> （Ｒ７年度）



成果指標	基準値	目標値
「学校 <u>サポーター</u> 」の人数	<u>5,630人</u> （ <u>Ｒ２年度延べ人数</u> ）	<u>6,900人</u> （Ｒ７年度）

「学校運営に関する諸調査」により把握する予定としていたが、「学校運営調査」の項目から削除され、R3年度から実績値が把握できなくなったため、「学校ボランティア」を「学校サポーター」の人数に変更して指標として設定した。

個別施策 G3-2 スポーツをみる機会の創出と競技者の支援を図ります

成果指標	基準値	目標値
プロスポーツ応援事業におけるアンケートで、「今後招待がなくても観戦に行きたい」と回答した者の割合	61.0%（R元年度）	82.0%（R7年度）



成果指標	基準値	目標値
プロスポーツ応援事業におけるアンケートで、「今後招待がなくても観戦に行きたい」と回答した者の割合	61.0%（R元年度）	<u>90.2%</u> （R7年度）

長崎スタジアムシティの開業に伴い、目標値を当初設定数値の1割増に見直した。

個別施策 H3-1 効果的かつ効率的で健全な行財政運営を行います

成果指標	基準値	目標値	指標の説明
目的達成に向けて「順調に進んでいる」又は「概ね順調に進んでいる」と評価した基本施策数	14施策 (R元年度)	20施策 (R7年度)	①目的達成に向けて「順調に進んでいる」又は「概ね順調に進んでいる」と評価した基本施策数。 ②A1～H2の基本施策が着実に進捗していることをもって市役所が確かな行財政運営を行っていることの客観的な判断基準になると考えるため。 ③毎年実施する施策評価結果により把握する。 ④全39の基本施策のうち、過半数が進んでいると評価されれば、全体として施策推進につながっていると考えられることから20施策を目標とする。



成果指標	基準値	目標値	指標の説明
「基準値からの傾向」が目標値に対して近づいている基本施策の成果指標の割合	—	100% (R7年度)	①「基準値からの傾向」が目標値に対して近づいている基本施策の成果指標の割合。 ②基本施策の成果指標が目標値に近づく割合が高まることで、各基本施策が順調に進んでいることの客観的な判断基準となるため。 ③毎年実施する施策評価結果により把握する。 ④全39の基本施策において目標値の達成をめざしていることから、100%を目標とする。

施策評価の見直しに伴い、評価基準を廃止したため、当初設定した成果指標を把握できなくなったことから代替指標を設定した。